

松島町教育委員会会議議事録（令和6年12月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和6年12月20日（金曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫委員（教育長職務代理者）、佐藤晴子委員、小澤晴司委員、櫻井智恵委員
- 4 説明のため出席した者  
蜂谷文也教育次長兼課長、松村武文学学校教育班長、齋藤幹雄生涯学習班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、熊谷賢学校給食センター所長、永沼昌一教育指導専門員、金津晶子学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 令和6年12月20日（金曜日）午前9時30分 開会 （録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録の署名委員の指名 小澤委員・櫻井委員
  4. 報告事項
    - (1) 一般事務報告
    - (2) 教育長報告
    - (3) 令和6年第4回松島町議会定例会について
  5. 協議事項
    - (1) 令和7年1月定例会について  
日程案：令和7年1月31日（金）午前9時30分 松島町役場3階 301会議室
6. 閉 会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕皆様、おはようございます。（「おはようございます」の声あり）

松島町教育委員会令和6年12月定例会を開会いたします。

開会前に、本日、小澤委員が10分ほど遅れて参加されるということでしたので、ご報告いたします。

開会の挨拶を内海教育長、お願いいたします。

〔内海教育長〕おはようございます。残すところ学校も今日と月曜日とあと2日間になりました。月曜日は終業式ということで、通知表をもらって帰るということになりますが、2学期は大きな事故もなく子どもたち過ごすことのできたこと、教育委員の皆様にも感謝申し上げたいなと思っております。

さて、12月に標準学力検査というのをやりました。学力テストと違い基礎基本を問う内容ですので、どのくらいの力を子供たちが持っているのかなということで、この結果も楽しみだなと思っております。

また、今年は何か秋がなく急に冬になり、コロナ、インフルエンザ、それからマイコプラズマ、あと手足口病、リンゴ病と、いろんなものが流行しましたけれども、何とか子どもたち、五小が2年生で学級閉鎖、あと松中も3年生1クラスが学級閉鎖ということで、どちらもインフルエンザということで、普通は2月頃が感染のピークですけれども、何か今年はいろいろ変わった季節になりましたが、ともあれ最終的にあと2日ということになりました。2日事故なく過ごせればいいのかなと思います。

今日もどうぞよろしく申し上げます。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕ありがとうございました。

続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、11月定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

定例会終了後に署名をお願いいたします。

### 3. 議事録の署名委員の指名

〔金津主査〕続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は、小澤委員と櫻井委員を指名させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

### 4. 報告事項

#### (1) 一般事務報告

〔金津主査〕続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 一般事務報告について、学校教育班から報告お願いいたします。

〔松村班長〕それでは、資料1ページをお開き願います。

上段になります。行事報告からご説明いたします。

12月5日から9日にかけて、12月議会定例会が開かれました。教育委員会関係分につきましては、この後の(3)議会報告で説明させていただきます。

10日火曜日、県立高等学校将来構想審議会学校配置検討部会が県庁で開催され、教育長が宮城県町村教育長会会長として出席しております。

19日、松島町要保護児童対策地域協議会代表者会議が役場大会議室で開催され、教育長と蜂谷次長が出席しております。

行事報告につきましては、以上となります。

引き続きまして、下段の行事予定についてです。

初めに12月分です。23日、各小学校・中学校及び各幼稚園で第2学期の修了式が行われ、翌24日火曜日から1月7日火曜日まで15日間の冬季休業に入ります。

次に、1月分です。6日、幼保合同研修会を予定しております。幼児教育の向上を目指しまして、幼稚園と保育所、認定こども園の先生方を対象に実施する予定となっております。

8日、各小学校、中学校及び各幼稚園で第3学期の始業式を予定しております。

15日、第5回仙台管内教育委員会教育長会議が仙台合同庁舎で開催予定であり、教育長が出席する予定となっております。

21日、宮城県市町村教育委員教育長研修会が、ホテル白萩で開催予定であり、本日定例会後に最終的な出欠を確認させていただき予定となっております。

なお、教育長は欠席の予定です。

23日及び30日「こども未来アカデミー」が第二小学校、第一小学校でそれぞれ開催予定です。

学校教育班は以上となります。

〔金津主査〕続きまして、学校給食センターからお願いいたします。

〔熊谷所長〕それでは、2ページ目をご覧ください。

学校給食センターの行事報告いたします。

12月4日、松島中学校1年生が考案した献立の第2弾として1年2組の「洋風給食メニュー」を提供しました。本日資料を配付しておりますが、こちらは、子どもたちに人気のあるオムライスを再現するためにチキンライスにオムレツを自分で乗せて完成させるという工夫がなされており、栄養教諭も中学生の発想でないとなかなか思いつかないと感心しておりました。

19日、事前に希望を取っておりました、自分が好きなものを食べられるセレクトデザートを提供いたしました。

20日、本日をもちまして、第2学期の学校給食提供が終了となります。

続きまして、行事予定ですが、1月8日、9日と順次第3学期の給食提供を開始いたします。

22日、こちらは本日配っております献立表に載せていますが、松島中学校1年生考案、第3弾としまして1年3組「マシッソヨ給食」、韓国語でおいしいという意味です。幼稚園、それから小学生も食べられるように辛すぎないような味つけでヤンニョムチキン等を出す予定となっております。詳しくは左下のほうに書いております。

1月24日から30日、全国学校給食週間となりますので、積極的に町内産や県内産の地場産物の食材を取り入れた献立を提供する予定となっております。

以上となります。

〔金津主査〕ありがとうございました。

それでは、学校教育班及び学校給食センターの報告について、ご質問等ありますでしょうか。

(質疑)

内海教育長

1月21日、松村班長が言ったように、教育委員と教育長研修会、欠席ということで、本来行かなければならないのですが、先生方の異動先がある程度決定となる人事ブロック会議というものがありますので、どうしても抜けられないということでご理解いただきたいと思います。

櫻井委員

感想になりますが、12月13日に中学校で授業参観がありました。その際に、中学校2年生、先月から話題として出ておりました職業体験の発表会がありましたので、その様子を勝手ながら報告させていただきたいと思います。

各1時間ちょっとの時間で、3クラスが分かれており全員の発表を聞くことはできなかったのですが、子どもたちがタブレットを使ってスライドを作り、各班工夫を凝らした内容で、こども園を体験した生徒たちはすごくかわいいイラストを使ったり、各班の工夫がすごく見られた発表でした。

内容も各班によってクイズを交えての発表だったり、すごく楽しくて面白い発表がたくさんありました。職業体験の発表とともに、今後の生活に、例えば自分たちで役立てることは何だろうとか、そこまで掘り下げたところも考えての発表だったので、子どもたちにとってはすごく実になった体験だったのではないかと思います。

どうもありがとうございました。

内海教育長

私たちが次長とも行きました。私自身も大変面白かったのと、よく工夫してやっていたなと手前みそではないのですが、とにかくよくやっていたなと思います。ご感想ありがとうございました。校長に伝えておきます。

佐藤委員

80日間の2学期、大きな事故もなかったということであり、これは教育長先生はじめ、本当に教育委員会の事務局の皆様にご多大感謝いたします。ありがとうございました。

残り2日も元気で過ごしてほしいなと思っております。

私からは、まず学校教育関係で2点とあと給食関係で1点お話しさせていただきます。

ホームページでいろいろ拝見させていただいている中からの感想ですが、1点目は授業づくり

の工夫ということで、子どもたちの授業の様子は本当に楽しそうで学びに向かった授業になっているなど感じています。特に、櫻井委員もおっしゃったのですが、タブレットを活用したり、それからみんなでとにかく黒板をしっかり見て先生の話の聞いている様子とか、あと、友達同士の交流というのも図られているなどというところがとてもいいなと思いました。

また、幼稚園ですと、歌遊びコンサートとして「あきらちゃんとジャンプくん」とかとても楽しそうに子どもたち参加している様子を見ましても、本当にいろんなことをご工夫いただいていることが児童生徒、そして幼児の確かな学びになっていて、健やかな成長につながっているなど思っております。

2つ目は、幼児教育関係ですけれども、子どもたちの笑顔がすごくあふれているホームページですね。それは、色々な誕生会であったり、先ほど申しましたコンサートがあったり、それから一幼さんと五幼さんで同じ視点で進んでいっしやるなと思うのは、歯磨きとか、あと口の推進事業の関係でいろいろ本当に子どもたちの歯の健康というところに気をつけて、しかも一幼さんでやっているところは五幼さんでもやっているというところが非常に重要だなと、すばらしいなと感じているところです。これからさらに、それぞれの学校に行ったときも同じ視点で育てられた子どもたちが健やかな成長につながっていくのだなと感じたところです。ありがとうございます。

以上2点です。

それから給食関係で1点ですけれども、本日もこれまず見ておいしそうだなと思いました。彩りがカラフルですし、食材もかなりいろんな食材を使っているということと、あとは松中の1年生の考案の献立というところもまさに生徒たちが食べたいと思えるようなメニューで、かつ食育指導もしていただいているので、栄養バランスであったりそういうところも考えられて、目で見てまず食べたいと思うような彩りがとてもすばらしいなと思いました。

これからもぜひ、組み込んでいただけますと食育への関心と、考案した子どもうれしいのかなと思いますので、ぜひこれからも続けていただけたらなと思います。

よろしく願いいたします。

以上でございます。

小澤委員

今の佐藤委員、それから櫻井委員のご報告でちょっと気がついたのですけれども、この間、塩竈市の浦戸諸島の桂島で、子どもが小学校、中学校に来て、あと大人がたくさんいたのですけれども、そこにイルカの骨がありました。イルカの頭と骨格がある。それを子どもたちがうまく形を作っていて、そこにアドバイスをする大人がいて、やはり指導者と子どもという位置関係が常に教室ではありますけれども、大人と多様な世界でやるというのは面白い、大学もそうなんです。今私の大学でも学生と一緒に木を切って、それから切った木をある程度の長さに切りそろえて階段を造っております。切り捨てだけではなくて、階段を造っていて、そこにアドバイスしてくださる森のプロがいる。ボランティアで来ていて、作業だけじゃなくてその合間にいろんな話をします。そのチャンプルーといつかいろんな世代の中で子どもたちが作業するというところにすごく学びの意義が広がるような感じがしまして、ちょっと思いつきました。

鈴木委員

今日と月曜日で2学期も無事に終わるなど、本当によかったなど、この頃テレビを見ていて色々な訳分らない事件のニュースをよく見るのですけれども、正月明け始業式の前の日、前の前の日、幼稚園や保育所の先生方の研修会があるようで、これ非常に興味あるなど。興味あるというかどの様な内容というか、狙いはどの様な形なのでしょう。

蜂谷教育次長  
兼課長

幼稚園、保育所、認定こども園の先生方を対象として、今回は発達障害の子どもたちに対する対応について研修するものであります。

鈴木委員

発達障害の対応となると外部講師を入れてする研修会を実施するのですか。（「第一小学校の佐藤教頭先生が特別支援のほうを専門的にやられている方で、佐藤教頭に来ていただいて講師になっていただきまして、そこで発達障害の子どもに対する指導とか発見とか気づきとかそういったものを研修する予定になっています」の声あり）

そういうことですか。それもととても大事なことだと思います。小学校も含めてですけれども、予期しないことがいっぱいあり、先生方で不安になっている方がおられるのではないかなと思ひまして、ちょっと意識合わせくらいなのかなと思っていましたところ。

そこら辺もちょっと検討してみることも必要と思っていました。（「分かりました」の声あり）

内海教育長 最終的には幼稚園も保育所も認定こども園の子ども達は松島の小学校に入学するので、ある程度保育所は保育所の特徴があるし、幼稚園は幼稚園の特徴があるし、認定こども園は認定こども園の特徴はあるのでしょけれども、ある一定の線を押さえておかないと、保育所が進んでいて幼稚園が遅れてしまうと駄目だし、小学校の1年を担当する先生方も保育所ってどうなんだろう、幼稚園ってどうなんだろう、認定こども園ってどうなんだろうと理解しないまま受け入れてしまわないように、ここら辺のところの協議をして、横をそろえられるものはそろえていこうという、例えば言葉とか、所作というかそういうのはそろえながらやっていくということで実施しております。

鈴木委員 先生方の共通認識ということ。

内海教育長 そうですね。そういう言葉だったらさらにいいと思います。先生方の共通認識の下でやっていくということで、今までだと幼稚園と保育所2つで、しかもこの2つは町立でした。今度民間の認定こども園が入ってくるので、さらに認識を統一していかないといけなくなってきたということです。

ご意見ありがとうございます。

〔金津主査〕では、続けさせていただきます。

生涯学習班から報告をお願いいたします。

〔齋藤班長〕それでは、生涯学習班の行事報告について説明いたします。

資料は3ページをお開き願います。

まず12月17日火曜日に野球侍ジャパンU12日本代表 鈴木陽土君、松島第一小学校6年生ですが、アジア選手権の結果報告を役場で行っております。

本人から大会結果や感想などを町長、教育長が受けております。

大会には、日本のほかチャイニーズタイペイや韓国チームが参加し、日本は2大会連続の3位で大会を終えています。

なお、鈴木君自身は途中出場も含め3試合に出場しており、大会最終日の3位決定戦では2番手ピッチャーで登板し勝利投手となっております。

続いて、行事予定について説明いたします。

12月22日、明後日ですけれども、松島放課後子供教室とジュニア・リーダーとの合同クリスマス会が文化観光交流館で開催されます。

放課後子供教室の参加児童は21名、ジュニア・リーダーからは12名が参加することとなり、イベントの内容としましては、クリスマスにちなんだ工作やゲーム、ドッジビーを企画しております。

次に、行事ではないんですけれども、周知事項としまして、12月28日土曜日から来年の1月4日土曜日まで生涯学習班所管の3施設、松島運動公園、温水プール、B&G海洋センターが年末年始の休館・休園となります。

最後に、1月25日に2024B&G宮城ウィンタースポーツフェスティバルが蔵王町のみやぎ蔵王えぼしリゾートで開催されます。体験内容は、ゴンドラ乗車や雪遊びの体験を予定しております。

なお、こちらにつきましては、広報まつしま1月号で参加者の募集を掲載することになっております。

生涯学習班の行事報告及び行事予定については以上となります。

〔金津主査〕ありがとうございます。

続きまして、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕町史編さん室の資料については、4ページとなります。

まず行事報告についてですが、12月15日日曜日に文化観光交流館におきまして、縄文土器クッキーづくり体験を実施いたしました。5組8名の申込みがあったのですが、1組風邪で欠席ということで少し人数が減ってしまったのですが、どちらが本物の土器かクッキー分からないくらい上手につくっていただいたので、楽しみながら縄文文化を学べたかなと思います。

続きまして、行事予定ですが、1月25日土曜日に第71回文化財防火デー警防演習を瑞巖寺にて開催する予定です。こちら初めて土日での開催ということになっておりますので、いつもより参加者が多いのではないかと期待しております。

行事予定、報告にないですが、1つ追加で皆さんにお配りした写真、1枚ものの資料をご覧いただければと思うのですが、こちらは第五小学校に保管されていた古い資料になりまして、宮城学院女子大学の大平教授という方が宮城県全域でこういう古い学校日誌を調査しているということで、ぜひ松島町にも調べさせていただけないか

という申出がありましたので、まず第五小学校さんに一緒に調査に入らせていただいて、その一部をご紹介しますと思います。

まず左上のほうは、明治9年から昭和31年にかけての学校の沿革誌ということで、古い学校のことがよく書いてあるものですが、その右側に、学校日誌ということで学校で起こったことなど一言ずつですが、その右下の表のように記載されている事項がありまして、昭和16年から現在まで続けられている貴重な資料ということでこちらについて調査させていただいたところです。もちろん学校には左下のほうにありますとおり、卒業証書を授与された人の名簿、あとは古いところだと学校のその評定なんかも書いてあるような資料もあって、個人情報もかなり多い物もあるのですが、基本的にはまず台帳をつくって何がどれだけあるかということをつくった上で、この右側の学校日誌だけはその戦時中の物ですとか、歴史的に調べたいものに関しては、中のページのほうも記録させていただくという形にとどめさせていただいて進めていくということになっております。

ちなみに、この右下の字が小さくて読めないですが、昭和20年の8月15日、終戦の日には何が書いてあるかということをやちょっと見てみたのですが、その日、国民義勇軍の結成式を予定していて、多数関係者が来校と書いてあるのですが、ちょっと連絡があって、その日は式をせず解散したと、それで正午にラジオの玉音放送ですね、これがあったということが書いてあります。こういったふうに、その地域にどのように受け止められたかということもだんだん分かってくるかなと思っております。

こちらに関しましては、一小、二小、中学校と今後も調べさせていただいてどのような資料があるかということを中心としていければと思っています。

報告は以上です。

〔金津主査〕ありがとうございました。

続きまして、中央公民館からお願いいたします。

〔赤間館長〕こちらは5ページをお開きください。12月5日、「消しゴムはんこ教室」のほうは6名参加で行われました。50代から上は80代の参加がございました。

次に、7日の土曜日でございますが、CHRISTMAS CONCERT、こちらは100名ほど参加がございました。

続きまして、行事予定でございますが、12月29日からの公民館所管の休館の予定を記載しております。

1月12日、第76松島町成人式（二十歳を祝う会）が開催される予定となっております。今のところ113名の対象者がございまして、7割程度の参加になるとは思いますけれども、新しく成人になられる方を対象にお祝いしたいと思っております。

ほか記載のとおりです。以上です。

〔金津主査〕ありがとうございました。

では、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館の報告についてご質問等ありますでしょうか。

（質疑）

内海教育長 学校日誌は何か一級品の資料じゃないですか。もう少し大きく見てみたいなという感じがします。何か機会があれば大きく。その8月15日前後というのも何か興味あるところですので、お願いします。

鈴木委員 これ五小以外でも一小とか二小でもこれ調べられたのですかね。

森田室長 今後調査していく予定です。

第二小学校は特に合併しているもので、三小、四小の資料がどれだけ残っているか分かりませんが。

鈴木委員 三小もね。図書室かどこかに保管されていたわけですか。

森田室長 これは校長室の金庫の中にあります。

内海教育長 私が第一小学校にいたときに金庫を確認しましたが、ここまで古いのはなかったような気がします。ただ古いのはありました。大正あたりとか。

鈴木委員 一番古いのはやはり一小ですか。

内海教育長 一小だと思います。

森田室長 去年第一小学校は158年目です。第五小学校が来年150周年なので。（「すごいね」の声あり）

## (2) 教育長報告

〔金津主査〕ありがとうございます。

(2)教育長報告について、内海教育長、お願いいたします。

〔内海教育長〕それでは、私から資料8ページになります。この資料は、新任の先生による新任のための研修会。新任の先生たちに集まってもらって新任の先生たちだけで語り合い、新任の先生たちの苦労話をみんなで語り合うというようなスタンスで今年初めて設けました。

その理由は何かという、今学校の先生になりたいという方があまりいなくなり、そして、先生になったとしても子どもたちも元気いっぱい子どもたちで、どうやっていいか掌握し切れないと。教員が足りないということで新任の先生をどんどん採用しているところがあるので、学校は少しずつ昔のようなしっかりした授業ができなくなってきているといったことがあります。そのために、県教委とか研修センターのほうでも新任研修をたくさんやるのですが、本当に悩んでいる部分として、子供を集中させるのはどうしたらいいのだろう、うるさい学級を静かにさせるのはどうしたらいいのだろうというような、片々の技術というかそういう細かい技術が、実際は語られる場がなかなかないということで、新任から3年目までの人たちが集まって自分の経験を話し合い、好き勝手に意見を言っている子どもがいるとなったときに、3年目の先生はどうやってそれを解消したか、あるいは解消できないか、解消するにはどうしたらいいかと、そういうのを話してもらおうと、上からトップダウンで下ろされるより、自分たちで苦労している部分を自分たちで検討するというので、話すほうも勉強になるし聞くほうも勉強になるのではないかなと初めての試みですが、こういうものやっていきたいなと思います。

8ページが一番下にある賢者は「教える」ということについて、次のように述べております。ちょっとレベルの上の人が教えるのと、少し前に学校に配属された人が教えるのと。上司は教えているのを見るだけ。教える人が一番勉強になる。これ確かにそうだろうなと。そして、レベルが違い過ぎると教えてもらうほうは理解できない。

ならば新任による新任のための研修をやろうということで、ちょっとこういうのを計画してみました。どうなるか、今後教育委員さんのほうに報告します。

9ページは、自転車の事故ですね。女子高校生が寒かったから下を向いて自転車をこいでいたら85歳の男性と衝突して男性が死亡したと。この場合責任は誰なんだろうなという感じになってきますよね。未成年だったらどうなんだろうなという話になります。

次のページをご覧ください。

賠償責任保険の義務化となったきっかけの事案です。坂道を下ってきた小学5年の少年の自転車が歩行中の62歳の女性と衝突し、歩行者の女性が意識不明となった事故です。そのときの賠償金が9,500万円だったということで誰が払うのか、小5の子どもが払えるわけなので保護者ということになって、それ以降、宮城県は令和3年、先ほども言った賠償責任保険の義務化となったわけです。こういうような事案も発生するというので、子どもだけではなく親のほうにもしっかり周知していかなければならないなと思いつつ、今回資料を出させていただきました。相当な金額の賠償が求められています。

それで、保険に入ると無制限の場合、月々200円から300円くらいなのかな。それで担保ができるのであれば入っていた方がいいかなと。自転車というどうしても昔はただの乗り物みたいな感じで飛ばしていたのだけれども、そういう捉えではもう済まされない時代に入ってきたのかなという気がいたしますので、子どもたちにもヘルメットを着用とか、ながらスマホ運転、そういう事もこれからも注意していきたいなと考えております。登下校のときにはヘルメットをかぶるけれども、遊びのときにはヘルメットをかぶらないということもあるので、十分に気をつけたいなと思いますので、一応資料として出させていただきました。こんなに金額上がってしまうとは驚いてしまいます。

そういうことで以上です。

〔金津主査〕ただいまの教育長からの報告について、ご質問ありますでしょうか。

(3) 令和6年第4回松島町議会定例会について

〔金津主査〕続けさせていただきます。

(3) 令和6年第4回松島町議会定例会について、蜂谷次長よりご説明いただきます。

〔蜂谷教育次長兼課長〕それでは、まず初めに11月定例会でご説明いたしました、松島町の野外活動センターの指定管理者の選定としてNPO法人ウイザスさん、さらに令和6年度の補正予算として教育委員会分の小中学校におけるネットワークアセスメント業務に係る経費につきまして、無事承認得ましたことを報告させていただきます。

それでは、一般質問の要旨ということで、本日お配りしているA3版の資料をご覧くださいと思います。

今回の議会におきましては、10人の議員から13件の質問がありました。そのうち教育委員会分としては、2番、

米川修司議員からの1件となっております。

内容につきましては、幼稚園間及び小学校間における体験格差についてということで、大綱3点の質問がございました。

1点目は、(1)の幼稚園間の体験格差についてということで、通園先を問わず地域に対する愛着形成が図られる体験機会を公平に与えることが望ましいが、どのように対策を講じていくのかということで、第五幼稚園における竹谷舞のすずめ踊り体験を例に質問がございました。

回答としましては、それぞれの園における相違については地域の「特色」と踏まえている。両園では交流事業を積極的に行っており、各幼稚園の「特色」を生かしつつ、可能な限り多種多様な体験が公平に得られるように努めているという旨を回答しております。

2点目につきましては、小学校間の体験格差について質問がありまして、通学先を問わず異文化を学び郷土愛を育むための体験機会を公平に与えることが望ましいが、どのように対策を講じていくのかということで、ここでは第五小学校の台湾の双冬小学校とのオンライン交流であったりとか、「松島まるごと学」のメニューとなっている五大堂太鼓、第五小学校においては菱取り踊りとかそういったものを例に質問がございました。回答としましては、松島第二小学校では、宮城県国際化協会の国際理解支援事業によりまして、海外出身者を講師に招いて多文化を学ぶ授業を開催する予定であり、このような取組を各学校に波及しながら異文化への理解を深める取組を充実させているということ。さらに郷土愛の部分では、郷土愛を育む取組である「松島まるごと学」の各学校における相違点は、各校の「特性」や「地域資源」を生かした結果であり、町全体での児童の成長を支える方向性には一貫性があると考えているという旨を回答しております。

次に3点目になります。3点目は、宮城県が教育旅行誘致に向けて取り組んでいるということ的前提としまして、姉妹校協定による双方向の交流を含め、教育委員会と町はどのように対応していくのかということの質問がございました。回答としましては、姉妹校協定は、双方において交流の体制づくりであったりカリキュラムの確保などの課題が多く、現段階では締結を検討していない。姉妹校がなくても交流が図られている現状を踏まえまして、引き続き双冬小学校との交流を行うとともに、各小学校でも関係機関と協力しまして交流の機会を大切にしていこうという旨を回答しております。

以上が、第4回議会定例会一般質問の要旨ということで説明させていただきました。

以上になります。

〔金津主査〕ただいまの報告につきまして、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

## 5. 協議事項

### (1) 令和7年1月定例会について

日程案：令和7年1月31日(金)午前9時30分 松島町役場3階 301会議室

〔金津主査〕続きまして、5番、協議事項に移ります。

令和7年1月定例会につきまして、日程案としまして、令和7年1月31日(金)午前9時30分から301会議室にて予定しております。

こちらの日程でよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

最後に、全体を通しまして、ご質問等ありますでしょうか。

〔小澤委員〕今さら聞きにくいのですが、ジュニア・リーダーはどういう方々なのでしょう。基本的な質問ですがお願いいたします。

〔齋藤班長〕ジュニア・リーダーは、中学校1年生から高校3年生までいます。まずジュニア・リーダー、うちの町ですと、自分からやりたいというふうに手を挙げてきてくれた子どもがジュニア・リーダーとして各活動に参加しているような形になります。

〔内海教育長〕昔、受皿として子ども会が主だったんですけども、学校週5日制になったときに、受皿はどこにあるのかとなったときになかなかないということで、その辺りからジュニア・リーダーが活発になってきて、子どもと大人をつなぐ間にジュニア・リーダーを添えて、要するにいきなり大人じゃなくて、ジュニア・リーダーの子どもたち、お姉さん、お兄さんたちと一緒に活動しながら少しずつ伸びていこうというような感じで活動してきました。ジュニア・リーダーでやる子どもたちというのは、時間的にもそれを何とか工夫しなければならない、アルバイトできるのにしないとかそういうような自分の持ったマイナスのリスクを払拭しながらもそういう活動にボランティアとして参加するというので、相当高いレベルに、櫻井委員の娘さんはジュニア・リーダー

の典型的な見本のような人です。本当はいろんな活動しなくてはならない、自分でもやりたいのだけれども、それを下の子どもたちのために何とか土日を潰しても行くという。ジュニア・リーダーの中には、町を動かす人も出てくるというくらい優れた集団の人たちです。普通はしませんよね、あまりね。今ボランティアでやるだけで。そういうことでございます。よろしいですか。（「ありがとうございます」の声あり）

あと、櫻井委員に聞いていただきたいのですが、多分家族旅行もできないのではないのでしょうかね。土曜日にジュニア・リーダーに行くとか言ってしまうと。

〔櫻井委員〕楽しくてやっていただけて、小さい子の面倒を見たりするのが好きだし、下の子を見るだけじゃなくて、ほかの他市町村の同年代のジュニア・リーダーとの交流会とか研修会とかで活動があったりして、それもふだん知り合わないような地域の子たちと知り合って友達になるというのもすごく勉強になるというか、うちの娘はそれが楽しくてとにかく行ってたという感じなので。（「ありがとうございます。単純に分からなかったので聞きました」の声あり）

〔内海教育長〕そんな感じでございます。ですので役割としては、結構重要な役割を担っているという形になります。

#### 7. 閉会 午前10時15分

〔金津主査〕では、閉会させていただきます。閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者よりよろしくお願いします。

〔鈴木委員〕今期も大きな事故もなく、2学期ももう終わりで、新しい年を迎えることになります。この教育委員会、本当に先生方、幼稚園、保育所、小学校、中学校、そして色々な接触の仕方が非常に深い、それが私何よりかなというふうに思っています。ただ、上から目線で学校を見るというのではなくて、一緒になって子どもたちの未来づくりに本当に直接意識を共有しながらもっていっている姿というのが、非常にこの教育委員会すばらしい、今改めて思います。

また来年も引き続いて、町の子どもたちの教育みんなと一緒にやっていけたらなと思います。  
よろしくお願いします。

〔内海教育長〕ありがとうございます。

またどうぞ来年よろしくお願いします。

〔金津主査〕以上をもちまして、令和6年12月定例会を閉会いたします。  
ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和6年12月20日

委 員

委 員